

臨床検体使用に関するお知らせ

研究課題名 『一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業
(Japan Neurosurgical Database:JND)』

【研究の背景および目的】

近年、高齢化の進展と医療費の増加に伴い、世界的に医療の質や適切な医療を受けることに対する関心は高まりつつあります。本研究の目的は、一般社団法人日本脳神経外科学会(以下、本学会)会員が所属する、日本全国の脳神経外科施設における手術を含む医療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すことです。データベースは複数の階層からなります。最も基本的なデータベースでは、できるだけ多くの患者さんの簡素な医療情報を収集し、より高層階のデータベースでは、臨床研究、医療機器開発、治験、お薬や医療機器の市販後調査などの個別の目的に応じたデータベースを構築する予定です。

収集したデータを分析することで、日本の脳神経外科領域における以下の課題について明らかにすることを目的とします。

- ・ 手術を含む脳神経外科医療を行っている施設の特徴
- ・ 医療水準の評価
- ・ 手術・治療を受けた方の治療の結果
- ・ これから手術・治療を受ける方の死亡・合併症の危険性の予測など
- ・ 専門医の資格更新要件到達度
- ・ 専攻医の研修目標到達度
- ・ 脳神経外科専門医制度のあり方に関する基礎資料
- ・ 医療機器や薬剤などの市場調査
- ・ 臨床研究、治験などを計画する際の基礎資料

今後、基盤データベースを発展させ、さまざまな研究と連携して運営することで、臨床現場がさらに充実した脳神経外科医療を提供していくために役立つものと期待され、東邦大学医療センター大森病院脳神経外科では、本研究への参加を計画しました。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

平成30年1月～平成32年12月までに東邦大学医療センター大森病院脳神経外科において、入院治療を受けた症例全例を対象とします。

本研究事業は、日本脳神経外科学会主導の多施設共同研究です。

本研究内容については、本学会のウェブサイト内(<http://jns.umin.ac.jp>)にて掲載するとともに、各施設のウェブサイトや施設の掲示板と入院時のお知らせ等などを用いて、相談窓口と患者さんの登録拒否申請の手続きについて告示します。

研究参加施設からのデータ登録は、インターネットを介して、手術を含む脳神経外科医療情報データを収集し、業務委託した会社が管理するクラウド上のサーバー上でデータを保存します。登録のためのウェブサイトを2018年1月に開設し、各参加施設のデータ登録担当者が入院、手術・非手術・治療

の情報を登録します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがあります。個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

脳神経外科

職位・氏名 教授 周郷延雄

電話 03-3762-4151 内線 6610